|  |
| --- |
| ◎本様式を使用して、下記評価項目に沿った提案を行うこと。上限は２０ページとする。なお、補足資料等については任意様式を認めるが、ページ数は上限を超えないこと。  ◎下記の項目に沿った目次構成とするか、目次構成を任意で作成する場合は上記評価項目のいずれに対する提案に該当するか分かるように明示して作成すること。  ㋐会社概要・請負実績における特記事項  ㋑事業目的の理解について  ㋒システムの操作性・利便性について  　※アプリや車載器、管理Webにおける操作性・利便性・画面の見易さ等を表現するこ  　　と  ㋓システムの性能・機能性について  　※効率的かつ最適なルーティンや高い利便性の実現に資する予約・配車・運行管理システムの優位性等について表現すること。  　　国内での実績を有していることが望ましい要件について、実績を有していない場合はどのように実現が可能であるのかをできるだけ具体的に記載すること。  ㋔システム拡張性について（※任意）  　※予約・配車・管理の運用だけでなく、他システムとの連携の可能性及び自社システムへの拡張時における優位性等について表現すること。  ㋕運行データ等の集計機能及び活用方法について  　※集計項目の多様性、拡張性、データ加工への融通性等について活用方法を含め表現すること。  ㋖運用・保守体制について  　※システムに係る不具合事項や利用者等からの機能改善要望等に対する対応・体制等について表現すること。  ㋗マネジメントについて  　※奥能登２市２町の特性に合わせた業務進捗や地域合意形成、利用促進等について表現すること。  ㋘事業実施スケジュールについて  　※業務履行期間中における業務のスケジュール（工程表）について表現すること。  ㋙広域運営体制づくりの検討支援について  　※広域運営のイメージや検討支援の具体な支援方法等について表現すること。  ㋚その他（自由提案）（※任意）  　※システム構築の目的や現在の運行状況、奥能登２市２町の公共交通以外の状況等を勘案し、その専門的な立場から他自治体の事例や今後の技術革新を見据え、本業務以外で持続可能な公共交通の実現に向けた効果的な提案がある場合は、記載すること。 |

* 上記の項目を基本とするが、「実施要領」や「業務要求仕様書」に記載された事項を参考に、適宜項目の追加等をすることは妨げない。
* 記入欄が不足する場合は、複写して作成してください。